

〔科目名〕 管理会計論Ⅱ	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 選択必修(経営学科)等
〔担当者〕 加藤 恵吉	〔オフィス・アワー〕 時間:木曜授業後休み時間 場所:講義の教室	〔授業の方法〕 講義(問題演習等を含む) 木曜3-4限連続(15回目除く)
〔科目の概要〕 <p>本講義では、管理会計の学習において必要な、これまで学んだ商業簿記及び工業簿記(原価計算)の基礎概念や個別原価計算・総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算等を主体にしつつ、その計算技法採用の経緯を織り交ぜながら講義を進めます。なお、本講義は春学期に開講された管理会計論Ⅰが前提科目になります。</p> <p>管理会計は、企業を経営するために必要な会計情報を提供します。管理会計の目的は、企業がさまざまな意思決定を行うことで適切な経営を行い、細分化して業績を評価・分析することで企業の収益性を高めることにもあります。したがって、単に財務的なデータを作成するだけではなく、その結果を解釈して、その後の企業の意思決定行動に反映させることが必要になります。</p> <p>講義では、単なる計算問題の演習に留まらず実際の企業の事例等にふれつつ管理会計情報の作成とそれに基づく改善活動についても講義していきます。また、実際に問題等を解くことで理解を深めるため講義中問題演習を行います。</p> <p>講義では、最終の15回目を除き2コマ連続のため時折、関係する資料の輪読やビデオ教材も使用・視聴する予定です。</p> <p>本務校の公務にてやむを得ず休講になる場合は、1週ずつ講義最終日が後になります。この点、留意しておいてください。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>本講義での学習に当たっては、会計の対象である経済活動、経営活動、ビジネス活動に対する理解も必要と考えます。したがって、商業簿記、工業簿記、財務会計などの会計科目だけでなく経営学や、絶えず変化し続けている現代社会に対する時代認識、歴史認識も含めた科目を包括的に学習されることを望みます。</p> <p>また、日商簿記検定2級1級の試験にも本講義に関する計算問題等も含まれるので、簿記等の検定試験及び専門職への資格取得を目指しているものは積極的に学習していただきたい。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>できれば日商簿記検定の資格取得を目指して学習していただきたいと考えます。</p> <p>さらに、企業においては、管理会計が理解でき、実践できる人材を欲しています。将来そのような人材になれるような礎を築くことも本講義の目標です。</p> <p>なお、本講義は15回であり、春学期の管理会計論Ⅰに指定した教科書の後半部分を学習します。</p>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 頁の関係上一部抜粋 <p>昨年度は管理会計論として開講したため、今年度春学期開講の管理会計論Ⅰシラバスのコメント欄等をご覧ください。</p>		
〔教科書〕 岡本清 廣本敏郎 尾畑裕 挽文子『管理会計 第2版』中央経済社、及び配付資料 (上記テキストの後半部分を講義します。)		
〔指定図書〕		
〔参考書〕 岡本清『原価計算』国元書房(問題等を図書館の蔵書で確認すると良いでしょう)		
〔前提科目〕 会計関連科目の「会計学基礎論」「商業簿記」「工業簿記」「財務会計論Ⅰ」「管理会計論Ⅰ」の事前履修が必要。上記の科目を履修していないと理解は難しいです。		

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)
 ① 手書きレポート (30%)
 ② 期末試験 (70%)
 ③ 出席確認を行います
 なお、評価については講義に出席することが前提であり、欠席が総講義数の3分の1を超えた方は、失格または減点します。

〔評価の基準及びスケール〕

グレード表記	評 点	グレード・ポイント
A	80 点以上	4.00
B	80 点未満 70 点以上	3.00
C	70 点未満 60 点以上	2.00
D	60 点未満 50 点以上	1.00
F	50 点未満	0.00

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕
 頭の中で計算システムを理解したと思っていても、実際、計算してみると、きちんと計算できないことに直面することがあります。何回も問題を実際に手で解いて理解するようにして下さい。また、正確にスピーディに計算することも実際の資格試験では求められます。

〔実務経歴〕

授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス及び管理会計論 I の振り返り及び補足 内 容: 講義の進め方、問題演習 教科書・ 教科書及び配付資料
第2回	テーマ(何を学ぶか): 予算管理の重要性 内 容: 予算管理システムの役割(計画職能・統制職能・調整) 教科書・「管理会計」第4章残り
第3回	テーマ(何を学ぶか): 予算編成と予算統制 内 容: 基本予算の構成とその編成 教科書・「管理会計」第5章
第4回	テーマ(何を学ぶか): 予算編成と予算統制(問題演習) 内 容: 基本予算の構成とその編成に関する問題演習 教科書・「管理会計」第5章
第5回	テーマ(何を学ぶか): 事業部の業績評価 内 容: 事業部の業績測定システム、コストセンターとインベストセンター 教科書・「管理会計」第6章
第6回	テーマ(何を学ぶか): 事業部の業績評価 内 容: 事業部間の振替価格と業績評価 教科書・「管理会計」第6章及

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):事業部の業績評価 内 容:内部振替価格と国際振替価格(多国籍企業の振替価格政策) 教科書・「管理会計」第6章関連</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):経営意思決定会計 内 容:経営意思決定と差額原価収益分析 教科書・「管理会計」第7章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):経営意思決定会計 内 容:設備投資の意思決定 教科書・「管理会計」第7章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):経営意思決定会計 内 容:NPPとIRR、資本コストとEVA 教科書・「管理会計」第7章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):経営戦略と管理会計 内 容:事業戦略と管理会計、PPM 教科書・「管理会計」第8章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):戦略的コスト・マネジメント 内 容:戦略的コスト分析、原価企画 教科書・「管理会計」第8章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):戦略的コスト・マネジメント 内 容:活動基準原価計算(ABC)と活動基準原価管理(ABM)、品質原価計算 教科書・「管理会計」第8章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):バランス・スコアカード 内 容:非財務指標としてのバランス・スコアカードの有用性 教科書・「管理会計」第8章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業の管理会計実務の実際及び総括 内 容:企業の管理会計の実際、アムバ経営、 教科書・配布資料及び問題演習</p>
試験	<p>試験は筆記具・電卓以外持込不可になります。</p>